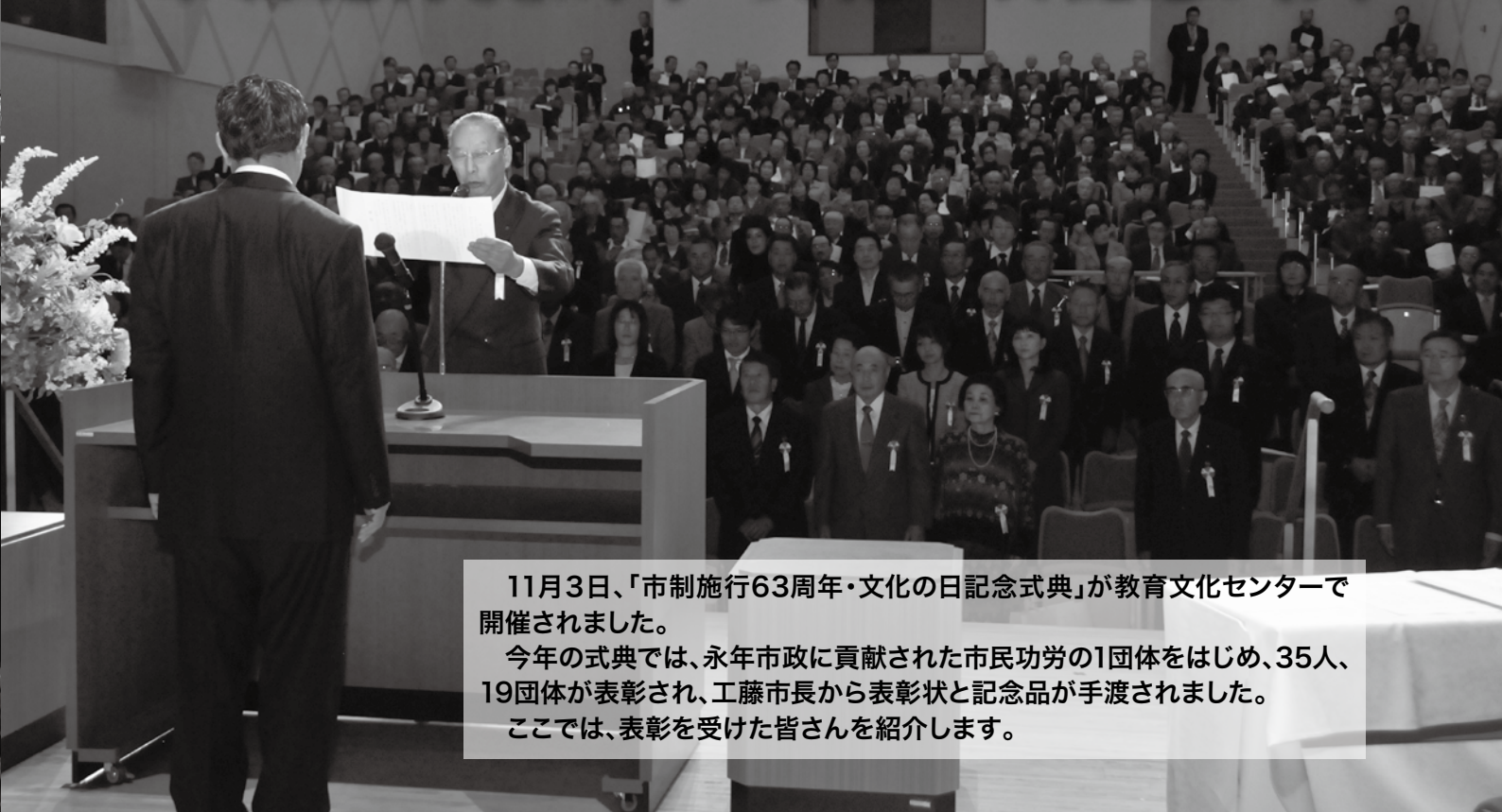


市制施行63周年・文化の日記念式典



11月3日、「市制施行63周年・文化の日記念式典」が教育文化センターで開催されました。
 今年の式典では、永年市政に貢献された市民功労の1団体をはじめ、35人、19団体が表彰され、工藤市長から表彰状と記念品が手渡されました。
 ここでは、表彰を受けた皆さんを紹介します。

市民功労

文化功労表彰 石田堤を守る会

功労の事績

石田堤を守る会は、地元堤根地区の有志が、石田堤を郷土に残る重要な歴史的文化財と考え、地域で石田堤を保護していこうと昭和48年4月に設立した自主的な活動団体です。

設立以来39年の永きにわたり、地元に残る石田堤を後世に残すべく活動を続けており、文化財の保護に多大なる貢献を果たしています。

石田堤は、その名が表すとおり、1590年(天正18年)、豊臣秀吉の関東平定の際、忍城攻めの総大将石田三成によって城を水攻めにするために築かれたもので、全長28kmに及んでいたと考えられています。そのほとんどは失われてしまいましたが、現在でも堤根地区の旧日光館林道沿いに282mほどの堤が残っており、往時をうかがわせる貴重な文化財です。

同会の活動の輪は次第に広がり、現在では、地元堤根自治会の全178世帯が会員となっています。同会は、定期的な除草や植栽などの作業を通して、景観や環境の保全に尽力され、石田堤の現状を大切に保存する活動を行っています。

行田の近世の歴史が、小説「のぼうの城」や映画「のぼうの城」で取り上げられ脚光を浴びています。日本全国には、看板や伝承だけの歴史スポットは数多くあります。そのような中、忍城水攻めを象徴する歴史的遺構、石田堤が時空を超えて今日あるのは、石田堤を守る会が、保護活動を地道に実践されてきた成果であります。

地域の歴史資源は地域で守る。この活動を永年継続してきた石田堤を守る会の功績は、歴史のまち行田にとって誠に顕著で多大であります。

また、地域コミュニティ活動を通じて、郷土愛、連帯感を醸成し市民が愛着と誇りを持つ地域づくりに取り組んできた同会は、オンリーワンのまちづくりを目指す行田の模範となるものです。



表彰状贈呈

(順不同、敬省略)

行政委員会委員として永年勤続された方

元公平委員会委員 杉山 定男

附属機関の委員等として永年勤続された方

介護認定審査会委員 川島 清

介護認定審査会委員 古沢 秀雄

国民健康保険運営協議会委員

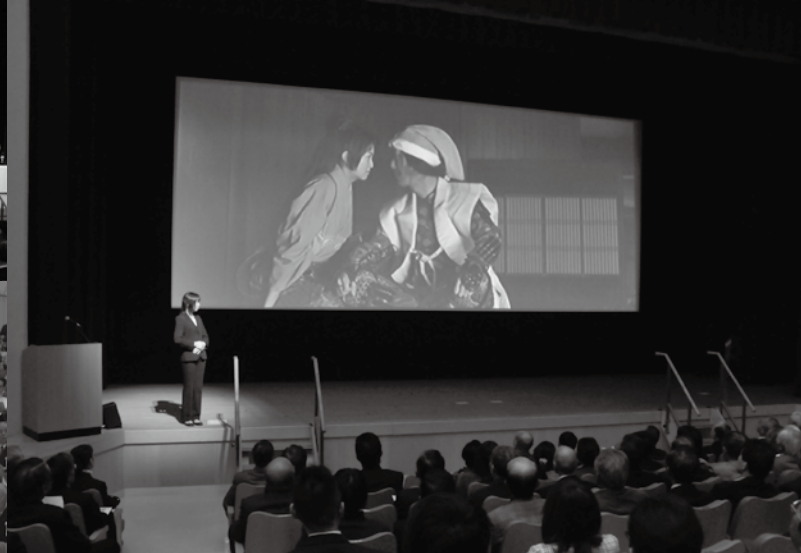
元教育振興奨励金審査委員会委員 島田 悦男

学校医 福嶋 正一

学校薬剤師 池畑 信正

社会教育委員 岩田 昭代

大平 敏江



スポーツ推進審議会委員
香川 宏行

元スポーツ推進委員
清水 俊明

スポーツ推進委員
伊藤佳代子

同
金子 裕

公民館長
小暮 弘

同
藤間 達男

文化財保護審議会委員
木島 隆夫

同
加藤 一夫

自治会長
木元 達也

同
塚本 信夫

同
荒木上宿自治会

自治会
久保自治会

同
第一旭自治会

同
二持田第一自治会

同
納税貯蓄組合

同
北谷区東町納税貯蓄組合

同
下忍中部納税貯蓄組合

同
下埼玉北部納税貯蓄組合

同
第一斎条中一納税貯蓄組合

同
第二北谷納税貯蓄組合

同
第二斎条上組納税貯蓄組合

同
第二斎条前組納税貯蓄組合

同
長野橋場納税貯蓄組合

同
統計調査員

同
長島 善江

同
保健衛生の改善向上に貢献された方

同
衛生協力会連合会副会長

同
衛生協力会連合会理事

同
小暮 福三

同
金屋 和子

同
小林 萬右

同
荻野 光生

同
地区衛生協力会長

公共土木施設の維持改善に貢献された方
道路河川愛護会連合会理事 関田 弘

同
須加地区体育協会

同
地区体育協会

同
水泳連盟会長

同
地区体育協会会長

同
図書館ボランティア

同
同

同
同

同
おはなしタンバリン

同
おはなしの会

同
同

同
同

同
同

同
同

同
同

同
同

同
同

同
同

同
同

同
同

同
同

同
同

同
同

同
同

同
同

同
同

同
同

同
同

同
同

同
同

同
同

同
同

同
同

感謝状贈呈
(順不同、敬省略)

公益のため多額の金品を寄附された方

池依 依依

関口 晋一

針生 清司

公益のため金品を寄附された団体

財団法人 忍郷友会

行田ロータリークラブ

東京ガス株式会社熊谷支社

山本食品工業株式会社